

## 筑豊石炭礦業史研究文献資料目録・抄：その三

田中，直樹  
日本大学生産工学部

<https://doi.org/10.15017/13559>

---

出版情報：エネルギー史研究：石炭を中心として．2，pp.22-27，1973-12-10．エネルギー史研究会  
バージョン：  
権利関係：

# 筑豊石炭礦業史研究文献資料目録・抄

—その三—

田 中 直 樹

本稿に紹介する「三井鉦山関係資料」と「外務省外交史料館所蔵資料」はあくまで抄録で、詳細な目録を近々発表の予定である。とくに後者については、旧外地の鉦業関係資料が多数所蔵されており、その際にあわせて紹介したい。

〔三井鉦山関係資料〕

かず多くある石炭資料中、『五十年史』（稿本）を中心とする三井鉦山の資料はひときわ異彩をはなつものである。三井鉦山株式会社は昭和十四年、「三井鉦山五十年史編纂ニ関スル件」で、各事業所へ次のような通達を出した。

「一、本史ノ編輯ニ就テハ、

第一期 史料ノ蒐集及調査ニ要スル期間

第二期 編輯、執筆、校閲及印刷ニ要スル期間

ニ分チ第一期ニ約一年半、第二期ニ約一年ヲ要スルヲ以テ取運ビノコト

二、先ズ第一期ノ執務トシテ編輯常任委員ニテ別途作成ノ『年譜及史料調』表ニ依リ史料ノ蒐集及調査ヲ取運ビノコト 尚本店各部、各事業所及関係会社ニ依頼ノ『事業年譜及史料調』ヲ取纏メ史料ノ取捨選択ヲ計ルコト、関係者ノ談話聴取ヲナスコト、聴取者人名並聴取事項予定表ヲ作成ノ上取運ビノコト（速記者ハ工業倶楽部等ヲ介シ信頼シ得ル者ヲ其都度雇備ノコト）

三、以上ノ執務取運ビノ上ハ、

（一）五十年史ノ目次（二）予定頁数（三）起述ノ綿密、簡粗其他取料ノ取材範囲

其他ノ編輯方針ヲ決定ノ上第二期ノ執務ニ取掛ルコト

四、三池駐在委員ハ九州各事業所分ノ史料蒐集及調査ヲナスコト

五、五十年史ノ年数起算点ハ

第一案 明治二十二年即三池炭礦ヲ払下、三池炭礦舎設立ノ年

第二案 明治二十五年即三井鉦山合資会社設立ノ年

前記二案を想定シ得ルモ前年三十年記念ノ時ハ第一案ニ依レリ又實際三井家ノ創業創始ノ時ハ三池炭礦ノ事業開始ノ時ヲ採ルヲ妥当トスベク且又起算点ヲ明治二十五年トスル時ハ史料モ昭和十七年迄ノ分ヲ採取スルヲ要シ編輯遅延スベシ故ニ本件五十年史編輯ニ就テハ第一案ニヨリ起算点ヲ明治二十二年締切ヲ昭和十四年迄トシテ編輯計画取運ビノコト

昭和十四年度より各事業所は編輯にとりかかり、戦時下の悪条件にもかかわらず精力的に進められた。「本史編纂の事たる正に是れ吾がルネッサンス運動と称」したように、ただ単なる懐古美談、對外誇示宣伝のための社史でなく、その使命は「現在及将来に対する積極進取に過らざる指針と種々たる不尽の生命とを与へんとするもの」であつた。

こうして、当初の予定どおり、『田川鉦業所沿革史』、『本洞鉦業所沿革史』（昭16・7）がまず脱稿、続いて『山野鉦業所沿革史』（昭16・10）、『三池製作所沿革史』（昭17・3）、『三池製煉所沿革史』（昭17・5）、『三池鉦業所沿革史』（昭17・4-11）が上梓された。

なかでも、『三池鉦業所沿革史』（全六九冊）は傑作で、研究者の間でしばしば引用される資料である。ただ戦時下で編集を非常に急いだため、各稿本間に若干のくいちがいがみられる。この点、原資料との検討が必要である。

なお、本史は印刷の予定であつたが先のような事情で稿本のまま  
で終止符が打たれた。

このほか、石炭礦業関係では、『美唄鉦業所沿革史』、『砂川鉦  
業所沿革史』、『太平洋炭礦株式会社沿革史』、『松島炭礦沿革史』  
がある。

〔三池鉦業所総務第一課旧蔵資料〕は最もすぐれた原資料である。  
総数にして三千点を越える膨大な量である。『三池鉦業所沿革史』  
はこの原資料を底本に編まれたものである。

〔三井鉦山株式会社五十年史稿本資料〕、『三池鉦業所総務第一  
課旧蔵資料』、いずれも三井鉦山株式会社の所蔵である。

なお、関連文献で『三井事業史資料篇四上・下』（財団法人三井  
文庫、昭46〔47〕）がある。

〔三井鉦山株式会社五十年史稿本資料〕

『三井鉦山株式会社五十年史稿』

卷一―五 総説

卷六 鉦山調査及採鉦

卷七―九 採鉦（石炭、金属、硫黄）

卷十 選鉦

卷十一 製煉

卷十二―十三 化学工業

卷十四 工作、動力

卷十五 保安、医療、衛生、能率、労務（一）

卷十六 労務（二）

卷十七 資材、会計、職員（一）

卷十八 職員（二）、地方関係

卷十九―二十 輸送及販売

『三池鉦業所沿革史稿\*』

首巻 凡例、目次、年譜

第一巻 前史

第二巻 秘書課（其一一―十一）

第三巻 採鉦課（其一一―十二）

第四巻 機械課（其一一―十四）

第五巻 電気課

第六巻 保安課（其一一―四）

第七巻 労務課（其一一―十一）

第八巻 医院

第九巻 庶務課（其一一―八）

第十巻 会計課

第十一巻 倉庫課

『田川鉦業所沿革史稿\*\*』

第一―二巻 総説

第三―五巻 技術

第六巻 保安及能率増進

第七―九巻 労務

第十巻 職員、地方関係

第十一―十二巻 会計、資材、輸送及販売附図

『山野鉦業所沿革史稿』

第一―三巻 総説

第四―九巻 技術

第十巻 保安及能率増進

第十一―十五巻 労務

第十六巻 職員

第十七巻 地方関係

第十八巻 会計、資材、輸送及販売（一）



67) 鉦夫募集関係	明 40   大 14	66) 米騒動ノ報告	大 7
68) 勤務手当書類	明 44   昭 3	67) 労働者罷業ニ関スル報告	大 8   10
69) 鉦夫扶助規則制定関係	大 5	68) 各地労働争議関係	大 11   14
70) 勤続鉦夫賞与書類	大 5   8	69) 三池労働争議経過誌	大 13
71) 鉦夫扶助月報	大 6   13   9	70) 争議団委員会社側幹部会見録	大 13   6
72) 鉦夫死傷者月報	大 7   1   8	71) 官衛往復	明 22   昭 15
73) 恩給内規関係〔救済内規を含む〕	大 7   14	72) 福岡鉦山監督署〔鉦務署、鉦山監督局〕往復書類	明 25   昭 17   12
74) 養老金給与手当関係	大 8   昭 14	73) 経済警察往復	昭 14   6   18   12
75) 購充組合、共済組合調査報告、理事会会議録	大 12   昭 14   11	74) 燃料局往復	昭 14   9   18   12
76) 鉦夫労役扶助規則関係	大 12   昭 4	75) 大牟田警察署往復	明 22   昭 14
77) 職工死傷報告	昭 4   4   11   11	76) 大牟田町役場、市役所往復	明 39   昭 16   12
78) 港務与論船積人夫日報	昭 6   1   6   2	77) 町村会関係書類	明 43   大 5
79) 鉦夫死傷病月報、鉦夫扶助月報	昭 14   1   14   6	78) 市町村会議事録	大 6   8   昭 18
80) 増産奨励金関係	昭 15   5   18   1	79) 石炭鉦業聯合会理事会書類〔報告、議事録〕	大 12   10   昭 16   12
81) 鉦夫勤続年数別等級調	大 8   12	80) 二十二日会関係	昭 5   6   13   9
82) 統計書類	大 8   大 14   8	81) 九州石炭鉦業懇話会関係	昭 7   12   18   2
83) 鉦夫就業時間調	大 11	82) 筑豊石炭鉦業会関係書類	昭 11   3   17   2
84) 鉦夫異動報告	大 11   2   11   8	83) 出炭〔送炭〕制限ニ関スル書類	大 12   5   昭 9   2
85) 表彰者資格調	昭 4   2	84) 社宅台帳関係	明 43   昭 13
86) 熊本県監獄三池出張所往復	明 22   36	85) 鉦夫社宅配置図	大 15
87) 熊本県監獄契約書	明 22   34	86) 社宅料ニ関スル諸調	昭 9
88) 熊本県囚徒負傷報告	明 22   41	87) 職員住宅調	昭 14
89) 三池刑務所ニ関スル契約書類	明 27   昭 5	88) 〔三井〕工業学校関係	大 8   昭 16   12
90) 三池集治監出炭調査日報	明 31   33	89) 電気関係書類	明 30   35
91) 三池監獄往復	明 33   41	90) 三池汽機汽罐書類	明 39   昭 11   5
92) 囚徒負傷者調	明 41   昭 5	91) 四山坑内電車関係	大 5   12
93) 三池刑務所往復	昭 2   5	92) 唐津鉦区関係書類	明 30   大 5
94) 三池保護会関係	昭 5   6   13   9	93) 炭礦夜学会関係	明 42   昭 5
95) 万田坑騒擾	大 7   9		

94 損害賠償費稟議

明 43 大 5

〔三井物産関係資料\*\*\*〕

(1) 三井物産株式会社沿革史稿

昭 15

(2) 日記〔元方、三井物産合名会社、

重役々場〕

明 9・6・3―35・4・10

(3) 三井物産合名会社〔株式会社〕 社報

明 36 昭 24

(4) 元帳〔三井鉱山、門司支店、門司石炭部、三池支店、長崎支店

石炭部〕

明 9 大 11

(5) 支・出張店貸借総勘定書〔長崎、馬関、三池、口之津、島原、

若松、唐津、三角、横浜、大阪、神戸、上海、天津、新嘉坡、

香港〕

明 24 大 28

(6) 石炭諮問会会議録

明 30 大 41

(7) 石炭協議会議事録〔門司支店〕

(8) 事業報告

明 30 昭 17

(9) 門司石炭支部支店長会議資料〔第六回支店長会議資料〕

(10) 支店出張所巡察報告〔国内〕

大 7

(11) 支店出張所巡察報告〔国外〕

明 26 大 27

(12) 三池炭礦社書類〔一、二〕

(13) 貝嶋鉱業書類〔一、二〕

(14) 田川採炭

書類

(15) 沖繩石炭山書類

(16) 毛利家金田石炭・市村炭坑書類

(17) 広炭商會書類〔筑豊炭売捌〕

(18) 石炭売捌

下村商會 幌内 石炭  
麻生太吉 蘇我 健次郎

日本石炭  
玉城炭鉱

19 三池集治監  
三池鉱山局 現金取扱命令書

20 三池石炭売捌

21 田川炭礦書類

\* このほか三池鉱業所五十年史編纂書類の主なものとして

次の資料がある。

(1) 職制及諸規則 (明治二十二年以降) (2) 各坑通常報告 (3) 三池刑務所沿革 (一―三) (4) 官営時代参考書類 (5) (明治二十二年以前) 採炭及コークス関係 (6) (明治二十二年以前) 石炭販賣関係 (7) (明治二十二年以前) 建築土木関係 (8) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(9) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(10) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(11) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(12) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(13) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(14) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(15) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(16) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(17) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(18) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(19) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(20) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(21) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(22) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(23) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(24) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(25) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(26) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(27) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(28) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(29) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

(30) (明治二十二年以前) 經理並に金融関係

ヨリ負債処分ノ件)

- (5) 佐賀並小城兩藩ニ於テ英吉利国人モリス雇入管下木津及久原村炭坑開鑿一件 明3・317・8
- (6) 外国人傭免状控 明3・1018・5
- (7) 在長崎英吉利国「ボイド」商社ヨリ佐賀県土族百武作十郎へ係ル木津石炭坑用器械売渡代価請求一件 明4・815・6
- (8) 噸税及船税関係雜件 明5・718・4
- (9) 長崎居留和蘭国人「ボードイン」ヨリ佐賀県土族松林公留へ係ル貸金返済請求一件 明5・81大9・11
- (10) 長崎居留英吉利国人「クリフル」ヨリ旧大村藩土村山与右衛門ト約定松島ニ於テ採炭起業ノ際工部省ヨリ禁止ニ係ル損害要償一件 明5・1016・10
- (11) 諸嶽山外国技術力雇入節「務省」へ取置証書案一定一件 明6・117・9
- (12) 私雇入表 明6・516・8
- (13) 官雇入表 明6・6112・12
- (14) 高島石炭海外へ直輸出一件(附同石炭坑へ外国船舶回漕規則) 明7・1112・7
- (15) 高島石炭坑へ外国船舶回漕規則設立一件 明7・3121・12
- (16) 在横浜英吉利国マデソン商会ヨリ後藤象二郎ニ係ル高島炭坑ニ於ケル器械使用差留一件、別冊附屬口述書 明7・7111・2
- (17) 各庁並人民雇外国人明細表 明11・2112・2
- (18) 北海道内石炭ヲ露西亞国浦潮港へ輸送ニ付在同港貿易事務官へ販路監督令達方北海道庁長官上請一件 明18・9118・10
- (19) 西班牙国領マニラニ於ケル本邦炭石炭商況及分析成績ニ関スル報告書西班牙国公使ヨリ送致一件 明19・1119・6
- (20) 在香港領事館附屬岩瀨弥四郎仙領東京地方炭坑業ノ情況石炭商況視察ノ為メ出張一件 明21・2122・2

(21) 特別輸出港規則同施行細則一件

- (22) 通商報告関係雜件 明21・12122・11
- (23) 特別輸出港関係雜件 明22・71大5・11
- (24) 清韓地方輸入石炭椎茸其他十一品数量價格等取調方長崎商業會議所ヨリ請願一件 明22・8129・10
- (25) 新嘉波上海及香港ニ於ケル石炭商況直接報告方許可一件 明28・11130・4
- (26) 石炭関係雜件 明41・1大9・9
- (27) 三池石炭直輸出一付雇入外国船不開港場へ回航一件 大1・919・10
- (28) 北海道物産 木材 直輸出ニ付雇入外国船不開港場へ回航一件 明12122
- 幌内石炭 明18122

\*\*\*\*\*

筑豊とは直接関係ない地方の資料も収録した。とくに高島炭坑に関する訴訟書類は最も重要で、長崎県立図書館所蔵本との比較検討が必要であろう。